慧光

金光寺寺報
第２６９号
発行所　金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
５９２７番地
☎ ０９８２
８３－２３３８

▲　念願の山門門扉、ケヤキ材にて取り付け完了（材提供・藤本武久さん）

今月のことば　法語カレンダー

一人一人（ひとりひとり）が　お浄土（じょうど）を飾（かざ）っていく　一輪一輪（いちりんいちりん）の花（はな）になる

梯實圓（かけはし）

梯氏は、著書である『花と詩と念仏』のなかで「私どもは阿弥陀如来さまを共通のみ親と仰ぐ兄弟であり、姉妹であって、お互いにみ仏の眷属（仏・菩薩につき従う者）の一人として、如来さまの浄土荘厳の聖なるみわざに参加しているものであるといわれているのです。ですから私どもも一人一人が浄土を飾っていく一輪一輪の花になるのだと味わわせていただきましょう」とお示しくださいました。

『仏説阿弥陀経』の一節に「青色青光　黄色黄光　赤色赤光　白色白光　微妙香潔」とあります。お浄土には色とりどりの蓮華が咲き乱れ、清らかな香りを漂わせています。おのおのが独自の光に輝いて、みんなが同じ色にならなくてはならないのではなく、それぞれが自分の個性のままに、しかもまわりと見事に調和して、何者にも評価されることなく、排除されることなく、絶対の尊厳を持ちながらそこにあり続けることができる。それがお浄土の蓮華の姿であるといわれるのです。

この経説は、蓮華のすがたを通して、私たちの真実のありようを知らせようとしてくださっています。世間では「私らしく」や「自分のカラー」などといわれますが、私自身いったい何色に輝けばよいのかと戸惑うことさえあります。

私たちは、育った環境も、受けてきた教育も、なにより生きてきた経験も異なった、かけがえのない歴史をもって今を生きているのです。そのすべてが受け入れられていく世界、それがお浄土であると私はいただいております。

（本願寺出版社刊「大乗」誌掲載
『月々のことば』より抜粋　転載）

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎　令和６年　１月
９日～１１日　（終日）
２５日　（終日）

１１月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

２０２３年１１月１２日満９４歳
小川田中ツタエ様
２０２３年１１月１４日満９５歳
東光寺東津隈アキ子様
２０２３年１１月１８日満８９歳
馬見原矢野延子様
２０２３年１１月２４日満９５歳
古賀西山森徳美様
２０２３年１１月３０日満８７歳
道の上川崎安子様

鞍岡・１１月の天候　（アメダス）
最低気温・－２．４℃（２５日）
最高気温・２５．６℃（　２日）
夏日日数・　１日/３０日
冬日日数　　５日/３０日
月間総雨量・108.0mm　（降雨日数・10日）
一日最大雨量・３２．０mm（１７日）

ホームページ開いています。
URL　https://konkouji.jp/
12月6日現在アクセス数　148,240人

金光寺のひと月

十一月

一日　地区報恩講　十三軒
松本久市様　六・七日忌
杉本高広様　四・七日忌
三日　当山前坊守釋妙順　祥月
田崎徳太郎様　五十回忌
四日　上米良スイ子様二十五回忌
興梠光男様、利治様　十七回忌（併修）
杉本高広様　中陰
小濱治幸家　墓仕舞い
五日　熊本市方面秋参り　三軒
松崎正和様　二・七日忌
秋本道子様　十三回忌
八日　木村日護様、天音様　児参式（七五三）
杉本高広様　五・七日忌
松本久市様満中陰・納骨
山門門扉取付工事
九日　広瀬地区報恩講（五軒）
原目・祇園町秋参り（二軒）
杉本郁子家墓仕舞い
十一日　熊本市方面秋参り（三軒）
十二日　小川地区報恩講（七軒）
松崎正和様　三・七日忌
下川地区秋参り（三軒）
橋本サヨ子様　十三回忌
大石の内地区報恩講（八軒）
十四日　田中ツタエ様　臨終勤行
高千穂町秋参り（一軒）
一の瀬地区秋参り（三軒）
古賀東地区報恩講（五軒）
田中ツタエ様　通夜
津隈アキ子様　臨終勤行
十五日　杉本高広様　六・七日忌
田中ツタエ様葬儀、火葬、初・七日忌
十六日　田中ツタエ様　礼参り
津隈アキ子様　通夜
十七日　本屋敷地区報恩講（七軒）
馬見原秋参り（五軒）
津隈アキ子様　葬儀、初・七日忌
十八日　当山前住職釋依章　月忌
矢野延子様　臨終勤行
津隈アキ子様　礼参り
水流・木合屋地区報恩講（十一軒）
矢野延子様　通夜
十九日　長峰地区報恩講（八軒）
矢野延子様葬儀、礼参り、初・七日忌
二十日　泉　幸子様三回忌、泉家納骨堂建碑式
揚　地区報恩講（十一軒）
高千穂町　秋参り（一軒）
荻原地区報恩講（八軒）
二十一日　スクナ原・原尾野　地区報恩講（八軒）
二十二日　十三区　秋参り（九軒）
二十三日　倉本地区報恩講（六軒）
二十四日　道の上地区報恩講（二十軒）
山森徳美様　臨終勤行
二十五日　田中ツタエ様　二・七日忌
藤本米八様　五十回忌
山森徳美様　通夜
熊本市秋参り（一軒）
二十六日　松崎正和様　五・七日忌
山森徳美様　葬儀、
高森町　秋参り（一軒）
二十七日　山森徳美様　還骨、納骨、初・七日忌
古小路ハルエ様三十三回忌
田中シゲノ様三十三回忌
津隈アキ子様　二・七日忌
二十八日　山森徳美様　礼参り
宮崎市秋参り（四軒）
二十九日　延岡・日向秋参り（三軒）
三十日　山本美登様、ミチ子様　三回忌（併修）
丁子　秋参り（一軒）
川崎安子様　臨終勤行

住職ひとりごと

本頁上段掲載「金光寺のひと」欄は文字の大きさを変えることができますが、通常十ポイント（ポイントとは文字の大きさの単位）で書かれています。とても忙しい十一月でした。

月初めに急な葬式が入ったからです。忙しさのピークは八日の水曜日でした。前日の七日は当山前住職釋依章の月忌参りでしたが、その日の夕方に矢野延子様の訃報が届きました。翌日の八日は朝から葬儀の打ち合わせ、午後から臨終勤行、夜は通夜、九日は葬儀、十日は火葬、十一日は初七日の法要と、五日間にわたる葬儀一式を執り行いました。

葬儀の前日、七日の夜は、水流・木合屋地区の報恩講（十一軒）でした。葬儀の打ち合わせの合間に、報恩講の準備をしました。

葬儀の翌日、十日の日曜日は、矢野延子様の初七日の法要と、長峰地区の報恩講（八軒）でした。

十一日の月曜日は、熊本市方面の秋参り（三軒）でした。

十二日の火曜日は、小川地区の報恩講（七軒）でした。

十四日の木曜日は、高千穂町の秋参り（一軒）と一の瀬地区の秋参り（三軒）でした。

十五日の金曜日は、古賀東地区の報恩講（五軒）でした。

十六日の土曜日は、田中ツタエ様の葬儀、火葬、初七日の法要でした。

十七日の日曜日は、本屋敷地区の報恩講（七軒）でした。

十八日の月曜日は、当山前住職釋依章の月忌参りでした。

十九日の火曜日は、長峰地区の報恩講（八軒）でした。

二十日の水曜日は、揚地区の報恩講（十一軒）でした。

二十一日の木曜日は、荻原地区の報恩講（八軒）でした。

二十二日の金曜日は、スクナ原・原尾野地区の報恩講（八軒）でした。

二十三日の土曜日は、倉本地区の報恩講（六軒）でした。

二十四日の日曜日は、道の上地区の報恩講（二十軒）でした。

二十五日の月曜日は、藤本米八様の五十回忌の法要でした。

二十六日の火曜日は、高森町の秋参り（一軒）でした。

二十七日の水曜日は、古小路ハルエ様と田中シゲノ様の三十三回忌の法要でした。

二十八日の木曜日は、宮崎市の秋参り（四軒）でした。

二十九日の金曜日は、延岡・日向の秋参り（三軒）でした。

三十日の土曜日は、山本美登様、ミチ子様の三回忌（併修）でした。

十一月は、葬儀が入ったり、報恩講が続いたりと、とても忙しい月でした。

（住職　松井卓郎）